



皆さん、図書館は好きですか?新たな知識を得るため、あるいは勉強に集中できる空間を求めて…。様々な理由で図書館を利用されているかと思います。私は決して本の虫と呼べるような読書家ではないのですが、なんとなく図書館の雰囲気が好きで、地区図書館から区民センターの図書室まで転々と巡っていたりします。多様な人が多様な目的を持って利用する。そんな人々のニーズに応える“図書館”がテーマです。

今回ご紹介させて頂きたいのが、札幌市の中心部・市民交流プラザ内にある「札幌市図書・情報館」です。

2018年10月のオープン以来、今日もたくさんの方が利用しています。その数は年間約80万人以上!地下歩行空間直結とアクセスがしやすい立地ですが、それだけではない、開設時のコンセプトから日々の司書の取り組みまで、たくさんの工夫が詰まっています。そんな人気施設の内側について知るべく、札幌市教育委員会中央図書館調整担当課図書・情報館副館長の嶋田直美氏に取材してきました!

館内を案内してもらった一番の感想は「やっぱり図書館っぽくないな…」来館自体は初めてではないものの改めてそう感じました。暖色系の照明と並べられたソファ、まるでおしゃれなカフェのような空間。それもそのはず、この図書館は雰囲気だけではなく、これまでの図書館が持つイメージを全てひっくり返すような施設作りをしていました。(写真1)



写真1



コンセプトは「はたらくをらくにする」ビジネス分野を重視した課題解決型図書館

この図書館の蔵書数は約4万冊。数字だけ聞くとすごい数に感じますが、中央図書館には約90万冊、地区図書館には約8万冊もの蔵書があり、比較すると意外に少なめです。これには中心部の建物ならではの面積の都合もありますが、たくさんの来館者に利用してもらえるように読書のための空間を広くとっているからです。限られたスペースを活かした図書館づくりのため、開設前から各所にどのような必要があるか調査を行った結果、あえて小説や絵本などの文芸書籍はほとんど入れず、仕事に役立つ「WORK」、暮らしを助ける「LIFE」、文化芸術に触れる「ART」の3つを中心に、ターゲットをビジネスパーソン向けに絞った蔵書を揃える形になりました。

私たちの業務の参考資料として、自動車や風俗営業などの業務に関連するものはもちろん、民泊やドローンなど、近年注目されている業界についての書籍も配架されています。また、特定行政書士考査に役立つ資料などもあったり……?

図書館の常識を覆した 札幌市図書・情報館に込められた工夫の数々

会報・ホームページ委員が調査しました!

会報・ホームページ委員 横山 裕紀

特別企画 バックナンバーはコチラ



テーマ3段階分け

図書館の本の背表紙を見ると、数字の書いたシールが貼ってあります。これは日本十進分類法という、図書をジャンルごとに分けるためのルールのようなもので、ほとんどの図書館ではその分類法に沿って蔵書を並べますが、札幌市図書・情報館では司書の方々が定めた独自の分類を行っていて、「大テーマ」「中テーマ」「小テーマ」と階層付けをすることで総論から各論へと深掘りしていくことができる仕組みとなっています。例えば、おおまかに「北海道のお酒について知りたい」と考えている状態でも探しやすい、そこからさらに、種類について知りたい、文化について知りたい、など段階的に分けられたテーマに沿っていくことで、自分の探したいものが見つかります。



本を貸し出さない図書館!?

図書館は本を借りるところ。借りた本は〇〇日までに返さなきゃ…。その概念を取り払い、館内閲覧のみのスタイルを採用。一見不便に思えますが、あえて貸出をせず全て館内に残すことで、知りたいことが載った書籍やたくさん予約が入る人気の本がずっと貸出中のまま、ということがなく、来館すればいつでも最新の情報に触れることができます。また、市内の他館からの取り寄せは可能で、館内には取り寄せた書籍の貸し出し・返却窓口も設置しています。



館内はお静かに・・・、しなくても良い? 飲食もOK?

図書館は静かにしないといけない場所というイメージが強いですが、こちらはなんと会話のできる図書館です。友達と一緒に話しながら本を探して調べ物をしたり、打ち合わせの場所として使うことも。複数人でも快適に利用できるように作られています。さらに驚くことに、場所によっては飲食もOK! 1階は飲食、2階は飲み物のみ可。併設のカフェまで図書を持ち込み、注文したコーヒーを味わいながら優雅に読書…なんてこともできます。(館内に直通のエレベーターと階段があります。誤って本を館内から持ち出すと防犯ゲートが鳴りますのでご注意ください) (写真2)



写真2



調べものの心強い味方! レファレンスサービス

レファレンスとは、簡単に言うと調べ物のサポートのこと。司書の方が知りたい情報を探してお手伝いをしてくれます。今では手元のスマートフォンで検索する方も多いかと思いますが、正確な情報ばかりとは限りません。そして一番の違いは何を調べたいのかがはっきりしていない、内容が漠然とした質問に対しても一緒に探してくれるととてもありがたいサービスです。これまでも「若者向けの〇〇屋さんを始めたいのだけれど若年層の多い地域を知りたい」といった統計の質問から、「アメリカンドッグに砂糖をつけて食べる文化について調べたい」という郷土についての疑問まで様々なケースがあったそうです。

司書の方が探してくれる資料には、自分が調べたかったことに関する意外な情報も載っているかもしれません。



ニーズに合わせて予約ができる座席の数々

1階～2階の自由席の他にも、2階には貸出券を使って予約できる座席があります。用途に応じて使いこなしましょう！

・ワーキング席(47席)

テーブルで調べものをするはもちろん、コンセントもついているのでパソコンを持参して作業もできます。事務所に戻る時間は無いけれど隙間時間で作業を進めたり、と忙しい方にもおすすめです。(写真3)

・リーディング席(17席)

会話のできる図書館だからこそ、落ち着きのある読書に適した空間も必要。ガラス戸で仕切られた静謐な空間で、集中して本の世界に浸ることができます。一息ついて目線を上げると眼前には都心部の良好な景観が広がります。

※会話やキーボードの入力などの音が生じる行為はお控えください(写真4)

・グループ席(8テーブル)

図書館には珍しい円卓タイプの席。2～4名の軽い打ち合せに最適。コンセントも備えており、ノートパソコンにプレゼンテーションを映してリハーサルをやっている方々もいらっしゃいました。他の図書館では見ることでできない光景です。

※自習室としての利用はできません(写真5)

・ミーティングルーム(2部屋)

個室での空間が必要な場合や大人数での打ち合わせをする場合に便利な大部屋タイプ。ホワイトボードやモニター・HDMIケーブル1本も備えており、貸会議室のような使い方も可能。従来は利用するための最少利用人数は5名からでしたが、なんと今年の4月から2名からの利用が可能となり、私たちにとってより使い勝手が良くなりました。

※ルーム1は12名・ルーム2は10名まで。自習室としての利用はできません(写真6)

・データベース席(10席)

新聞雑誌、法律、ビジネス情報等のデータベースを検索できる端末を利用できます。自分が知りたい業界に関係する専門情報や法改正についてチェックしてみましょう(写真7)

※Webでの座席予約はできません



写真3 ワーキング席



写真4 リーディング席



写真5 グループ席

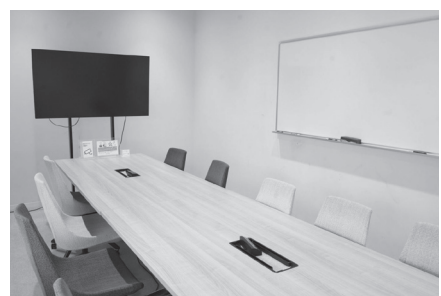


写真6 ミーティングルーム



写真7 データベース席



札幌市民以外の利用はできるの？

図書館は住民のための公共施設であり、貸出券の作成に関しても原則として札幌市に住所または通勤・通学先がある方が対象です。しかし、2階カウンターで手続きを行うことで対象外の方でも当日の予約席の利用が可能です。札幌に立ち寄った際の空き時間やちょっとした調べものにもぜひ利用してみてください。



小さな失敗？返却台とは・・・？

図書・情報館には返却台というものがあり、館内で読んだ本をそこに置いておくと、そこから本の利用傾向を把握し、今後の本の入れ替えや購入方針決定の参考に使っているそうです。実を言うと私は当初それを知らずに読んだ本を逐一元の場所へ戻してしまっていた時期がありました。何を讀んでいたか知られたくない方もいらっしゃるのですが決して強制ではないのですが、手に取った本はできれば返却台に戻したほうが良いみたいです。



私たちができること

日頃から市民の知識に資する大事な公共施設ですが、そんな図書館に私たちができることはあるか尋ねてみたところ、本の寄贈はありがたいとのこと。特にベストセラーや流行の本については、需要は多いものの財源として何十冊も仕入れることは難しいため、市民の協力があると助かるそうです。他にも地区センターなどではボランティアサークルなどを通して読み聞かせ活動などが行われていることもあるのだとか。

※札幌市図書・情報館での受け入れ冊数は1回10冊までとなっております



ぜひ一度訪れてみては

調べたいことがある時、ふらっと立ち寄る時、いつ訪れても面白い図書館。皆さんもぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。新しい発見があるかもしれません。

【協力】 ●札幌市教育委員会中央図書館調整担当課図書・情報館 副館長 嶋田直美 氏

【参考】 ●札幌市図書・情報館／札幌市の図書館 - 札幌市公式ホームページ

●札幌市図書・情報館 | 市民交流プラザホームページ

●レファレンス共同データベース

施設紹介

札幌市図書・情報館

所在地 〒060-0001
札幌市中央区北1条西1丁目
札幌市民交流プラザ1・2階

営業時間 平日：9:00～21:00
土日祝：10:00～18:00
休館日：毎月第2・第4水曜日、
年末年始 12月29日～1月3日

アクセス ・地下鉄／地下鉄「大通駅」30番出口から西2丁目地下歩道より直結 徒歩約2分

・市電／市電「西4丁目」駅から徒歩約12分

・JR／JR「札幌」駅南口から徒歩約10分

・バス／停留所「時計台前」または「北1条」から徒歩約2分

※専用駐車場はありません。近隣の有料駐車場をお使いください。